

九条の会・各務原

九条ニュース 第60号 2023年10月1日 発行

(連絡先) 〒509-0122
各務原市新鷺沼台5-140
三戸 光則 方
☎・FAX 058-884-5726
Mibunai18226@gmail.com

「戦争挑発・発言」に断固反対！ いまこそ「平和の声」を！

世話人代表
伊藤 利明

8月8日、自民党の麻生氏は台湾の総統選挙を間近に控えたこの時期、台湾に乗り込み講演し、「台湾有事の際には、いざとなったら台湾防衛のために防衛力を使う。その明確な意志を相手に伝えることが抑止力になる」と発言、日本と台湾の民衆に「戦争する覚悟」を煽り、戦争の緊張を挑発した。これは、言うまでもなく先制攻撃をも有りとした憲法違反である。この暴言！また、あの麻生氏が言っているといった軽いことではない。麻生氏は、2013年にも、都内の講演で「静かにやろう、ということでワイマール憲法はいつの間にか変わっていた。誰も気がつかない間に変わった。あの手口を学んだらどうか。」と発言した。これは、自民党が目論む憲法の改憲（改悪）についての話の流れで、「ナチスの手口に学んだらどうか」すなわち、「国民は黙って国家に従え」という、独裁的な国家観・憲法観の発言であり、またしても麻生氏の「戦争挑発発言」は、かつてナチス・ドイツでナンバー2まで上り詰め、一時はヒトラーの後継者とまで言われた軍人ヘルマン・ゲーリングの残した次の言葉を思い起こす。「もちろん、普通の人間は戦争を望まない。しかし、国民を戦争に参加させるのは簡単なことだ。とても単純だ。国民には攻撃されつつあると煽り、平和主義者には愛国心に欠けていると非難すればよい。この方法はどんな国でも有効だ（要約）」この言葉が麻生氏の脳裏に有ったかどうかは判らないが、まさに国民を欺く手口であり過去の戦争の反省どころか、戦争を美化・挑発する発言としか思えない。国民が主権者であるという立憲主義に立つ「日本国憲法」をないがしろにする政治には断固、反対する。憲法前文にあるのは「諸国」ではなく「諸国民」である。国を信じ裏切られた民、そして、戦争を起こすのは国。国と国との争いの中で、そこに暮らす人々は、命を奪い合う戦争より、“戦争をしない平和な暮らしを自然に愛し願う。”ウクライナ戦争の渦中に苦しむ人々は、なおさらである。

だから、そこに信頼と対話が必要になる。国と国を超えた「民」の「平和の声」こそ、世界平和への確実でもっとも現実的な道である。と現行憲法は説いていると思う。

＝東京・憲法ゆかりの地を訪ねる＝ 8月猛暑の金曜日（撮影・伊藤）

■ 「日本国憲法草案審議の地」記念碑

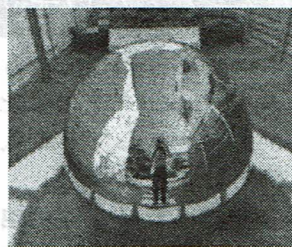
港区六本木一丁目（六本木麻布台ビル敷地）



- ・1946年2月、連合軍司令部と日本国政府との間で憲法草案について審議された跡地。戦後は外務大臣官邸として使用されていた。
- ・左下側に、関わった連合軍と日本政府当事者の名前等説明石碑があります。
- ・ビルの谷間に人知れずひっそりと建っていました。建主は八木通商株式会社

■ 球状の「九条の碑」

足立区千住（京成線関屋下車徒歩約10分/住宅跡地）



ステンレス製

「球状と九条」をかけたユニークな発想、敷石も9、有志による東京で初の「九条の碑」2022年6月完成、3周りすると九条全文が読めます。

会員の声

ここ 4年近くコロナ禍のため会員同士が集う集会や学習会ができませんでした。また、会員の高齢化もあって集会に出かけることが難しい方もいます。そんな会員の日頃の9条に対する思いをニュースにと「会員の声」を企画しました。

今回は3名の方です。この「会員の声」は毎号集めて載せていきたいと思っています。皆様のご投稿をお待ちしています。ぜひ事務局までお寄せください。

◆ 守ろう憲法9条

戦争をさせない憲法9条です。岸田政権が進めている大軍拡路線、46兆円もの巨額を投入する軍拡、敵基地まで届く陸自の超射程スタンダードオプミサイル。海自のステルス型イージス艦。空自の極超音速ミサイルなどの武器は、ありません。

戦争で苦しむのは、子ども、女性、高齢者です。戦争を止める第9条はしっかりと守っていくことが大切です。

岐阜基地にも、最先端技術の電子戦施設の建設が進められています。防衛相は、電子戦は「現代の作戦に置いて必要不可欠」と位置づけされている重要施設です。こんな危険な施設は岐阜基地にはありません。

(鷺見鎮一)

◆ 平和を守る準備

私は1960年代後半半商社に勤めていました。余り聞くことのない「運保(ウンボ)課」という課名がありました。何をする課かも知らずすごしておりましたがある日、これはベトナム戦争の「死体袋」を輸出する死の商人の仕事だと知りました。

60年安保の時代から岸・安倍・菅・岸田政権は国民が見えない所で政治

をしている。現代においては「三文書」が現実化されることに怒りを感じます。

憲法九条をないがしろにすることは許せない！ 今やるべきことは戦争ではなく、九条を守り平和を守る準備をするべき時だと思ふ昨今です。

(M)

◆ 九条の会 戦争放棄

命と呻きと反省という

宝物の深淵から芽吹いた九条、

人間の動物的残虐性に

釘を打った九条、

敵基地攻撃能力保有、

いいのか。こわい、

足並みそろえる殺人集団。

押し寄せる足音に

「いや」と抗う勇気が欲しい、

一人はこわい、仲間の勇気と

合わせながら言い続ける、

「戦争放棄」と。

地球を生きる全ての今のため、

自身のよわいを大事に、

生き物として、自然災害のみ

恐れ泣き笑いたい。

だから「戦争はやめて」

「九条守る」

(M・K)



スタンディング・ウォッチング

鶉沼「うな神」前の参加者の声

私がスタンディングに参加している理由は、みんな日々の仕事や生活に追われ戦争や憲法9条について思うことが難しいなか、大きな看板やプラカードを持ってスタンディングしている人を見て、いつときでも考えるきっかけになればと思い参加しています。

アメリカとの地位協定で日本は基地への管理権も立ち入り権もなくアメリカの言いなりです。同じようにアメリカの基地のあるドイツやイタリアと比べるとまるで米国の属国です。日本は戦争について誰も責任をとっていないし、反省もしていません。戦争による他国への侵略、他民族への虐殺などあいまいにしている状態では、日本は世界の人々に認められないし、見放されてしまいますと意見を述べられていました。(参加者：70代 女性)



2023 ぎふ平和のつどい

なぜ、戦争への準備なのか 平和への道を探る

◆ 11月3日（金・祝日） 13時半～16時半

● 岐阜市民会館 大ホール

今回の講師は今注目のお二人です。ご期待ください！

菅官房長官を質問攻めにして震え上がらせた東京新聞記者・望月衣塑子さんと、新進気鋭の社会学者・白井聡さんです。お二人の講演と対談という今までにない集会です。

前売券・1,000円（お申込は三戸まで）

☎ 080 5160 4462

★ 詳細は同封のチラシをご覧ください ★

第2回 各務原・9条カフェ（無料）

歌を聞き、講師の話を聞き、コーヒーを飲みながら、楽しく親睦と意見交換！

★詳細は、後日ご案内をいたします。★

◆ 11月23日（木・祝日） 13時半～16時半

● 那加福祉センター・2F 学習室

1、平和の想いを、みんなと歌おう～

湯上芳美さんのギター演奏と歌

1952年生まれ、音楽集団「ひまわり」1971年入団。以来52年間、平和の想いを詩（うた）に込め、歌い続けてきました。

2、講演「憲法を活かす沖縄の平和外交」

＝戦争の準備より平和の準備を！＝

講師・武藤 清吾 さん

1954年、羽島市生まれ京都大学卒業、早稲田大学大学院卒業、現在、琉球大学名誉教授

3、フリートークタイム

平和のこと、9条のこと、なんでも！ 聞くだけのご参加も大歓迎です。

10月の東京・岐阜の主なアクションスケジュール

今こそ「戦争ではなく、平和を」の声を！

2023.10.5 九条の会大集会 大軍拡反対！ 憲法改悪を止めよう

10月5日（木）「なかのZERO」大ホール（東京）19：00～21：00

スピーチ：田中優子・中野晃一 市民によるリレートーク、ライブなど

主催：「九条の会」10・5大集会実行委員会

特定秘密法廃止ロック街頭宣伝活動

10月6日（金） 名鉄岐阜駅前交差点付近 17：00～17：45

主催：秘密法廃止ぎふ

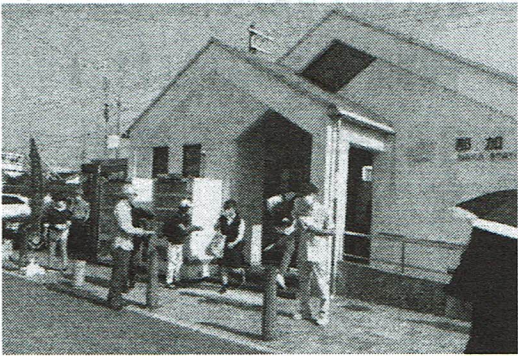
第62弾「もう黙っとれんアピールアクション行動」

10月19日（木） 名鉄岐阜駅前交差点付近 17：00～17：45

主催：もう黙っとれんアクション委員会

「九条の会・各務原」スタンディング活動

●JR 那加駅前・早朝



●市民公園・「各務原お散歩マルシェ」開催の時



最近では、3日・9日以外の日にも“多くの場所で”を合い言葉に活動しています。ぜひ参加してください。また、お近くに良い場所があればお知らせください。

おかげさまで第60号！引き続きカンパのお願い：同封の用紙をご利用ください

コロナ禍が襲って3年が過ぎ警戒は緩和されるも未だコロナは収まっていません。この間私たちはスタンディング、大看板の作製、チラシ作りと配布、街宣など切れ目のない活動を行ってきました。それは皆様からの様々なご支援のお陰でありました。そして今はコロナ禍対策をしながら集会を開く社会的環境が整ったと判断し、11月23日に「9条カフェ」を開催することを決めました。「九条ニュース」は第60号の発行に至りました、ありがとうございます。

自公政権の改憲の策動が強まる中、私たちは活動を緩めず取り組む所存です。物価高の中心苦しいお願いではありますが引き続きカンパをよろしくお願い申し上げます。（事務局）